

134 タカヤママメシジミ(仮称) (マメシジミ科)

兵庫県ランク:B

Neopisidium sp.

環境省ランク:指定なし

種の概要

殻長2mmに満たない微小種である。ほぼ楕円形をし、殻頂部の突出は弱い。殻は薄く半透明で、外部から保育中の稚貝を透視できる。属名が適当かどうか不明だが、形態的特徴から *Neopisidium* 属に充てた。兵庫県以外でも確認しているが、国内での分布は不明である。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

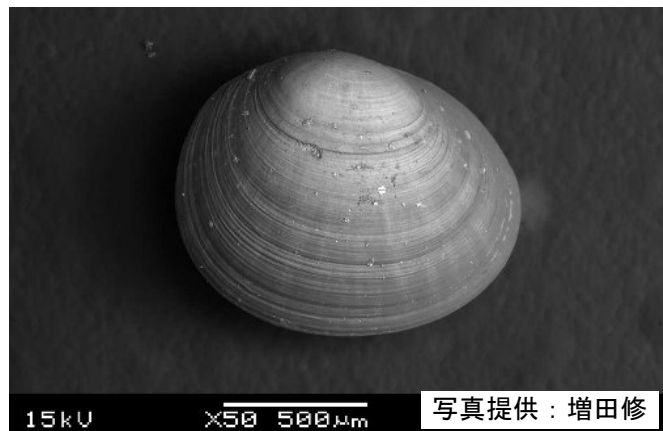
豊岡市、香美町

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。香美町村岡区、豊岡市日高町・竹野町の標高数百～1,000m近い場所にある湧水湿地で確認しており、水深は数cm足らずの有機物の多い軟泥に潜って生息している。生息地は人手がほとんど入らない場所ながら、反面イノシシのヌタ場になりやすい。しかし、こういった小規模な湧水地は、強度な植林がされている場所を除いては点在すると考えられるので、県内では自然林や原生林がよく保存されている但馬地方でのみ確認されているのかもしれない。

保護上の留意点

源流部を中心とした山林の保全をし、河川水量の維持と同時に湧水や地下水脈を寸断する林道建設や現流域の開発に注意をすること。



【執筆者】 増田修